(3)　減損の認識

（電話加入権）

1．減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額（円）
教育研究用通信設備	電話加入権	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149　外	938,000

2．減損の認識に至った経緯

電話加入権について、市場価格が著しく下落し、回復の見込みがあると認められないため、減損の認識を行っております。

3．減損額のうち、損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳

回収可能サービス価額が帳簿価額を上回るため、減損額はありません。

4．減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合には、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

一体として判定した固定資産はありません。

5．回収可能サービス価額の概要

使用価値相当額が正味売却価額を上回るため、回収可能サービス価額は使用価値相当額により測定しております。使用価値相当額は東日本電信電話株式会社の施設設置負担金とし算定した結果、帳簿価格を上回ったため減損損失は計上しておりません。

＜キャッシュ・フロー計算書注記事項＞

(1)　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	686,777,280円
差引資金期末残高	686,777,280円

(2)　重要な非資金取引

①　現物寄附による資産の取得

工具器具備品	1,379,700円
図書	3,848,115円
美術品	3,000,000円
消耗品等	11,620,650円
合計	19,848,465円

(3)　その他の事項

①　教育研究関連業務支出は、教育・研究に関する支出であります。

②　その他の業務支出は、主として一般管理費の支出であります。

＜重要な債務負担行為＞

（単位：円）

件名	契約金額	翌期の支払金額
宮城教育大学（青葉山）(附特）屋内運動場改修工事	73,500,000	18,928,000
宮城教育大学（青葉山）校舎等テレビ共同受信設備改修工事	13,072,500	13,072,500
特別支援学校体育館舞台吊物設備一式	11,686,500	11,686,500
宮城教育大学（青葉山）(附特）屋内運動場改修電気設備工事	9,660,000	9,660,000
宮城教育大学（青葉山）６号館等便所改修工事	14,154,000	8,494,000
宮城教育大学（青葉山）６号館等便所改修機械設備工事	11,812,500	7,087,500
大塚電子㈱製　瞬間マルチ測光システムＭＣＰＤ―980ＭＣ	5,922,000	5,922,000
宮城教育大学（青葉山）環境整備（タナゴ池等）工事	4,147,500	4,147,500
	143,955,000	78,998,000

＜重要な後発事象＞

該当事項はありません

附　属　明　細　書

(1)　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	6,630,142,226	14,344,992	23,046,756	6,621,440,462	1,908,058,155	246,001,909	0	0	0	4,713,382,307	
	構築物	956,472,736	0	1,219,243	955,253,493	485,240,287	49,430,633	0	0	0	470,013,206	
	工具器具備品	141,555,069	0	4,915,973	136,639,096	119,774,740	7,233,833	0	0	0	16,864,356	
	船舶	34,944	0	34,944	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7,728,204,975	14,344,992	29,216,916	7,713,333,051	2,513,073,182	302,666,375	0	0	0	5,200,259,869	